

落語で法律

～ワッハッハッと笑ってウーンと悩む～

古典における法教育

日時

2月23日(土) 13:30～15:30

場所

京都教育大学附属高校図書室(メディア棟2階)

対象

京都教育大学附属高校の生徒、大学・附属学校関係者
及び教育・法曹関係者等興味関心のあるかた

内容

一見すると「古典落語」と「法律」は相容れない組み合わせのように思えるが、古典落語には法律的に考えると「問題」ある内容の噺が多い。そこで今回は、実際に参加者全員で古典落語を聴いた後、一般の社会常識に照らして、その「問題」についてグループごとに議論した後、法律家のアドバイスを受けながら、法律的にはどうなるのかという視座も交えながら考える取り組みとする。落語鑑賞の前には、古典落語についての基本的な説明も行う。国語科の古典学習の中で法的な考えを学ぶという試みであり、国語科教育や法教育における新しい実践を創造する目論見を持つ。笑いながら深く考える参加型の学びである(*落語の演目は当日のお楽しみ)。

ゲスト講師紹介：敬称略・順不同

矢野宗宏(やの むねひろ)

日本初のユーモアコンサルタント。日本笑い学会理事。全国の企業や団体を対象に落語を採り入れた講演を行い活躍中。関西大学落語研究会で14代部長を務める。プロの落語家からの誘いを断り、卒業後地元の信用金庫に入庫。仕事では業績が上がらずダメだと言われ続けていたが、お笑いのセンスや地道な活動を認められ支店長へと昇りつめる。それに伴い仕事の業績を伸ばし、2001年度上期優秀店表彰を受ける。2002年金庫を退職し独立。その活動は多数のテレビで放映される。同年NPO法人お笑い研究会の会長に就任。2003年にはNHK大阪文化センターの講師となる。内閣府が決定する「生活達人」に選出される。著書に『お笑いで支店長になりました』(遊タイム出版2007)等。

森野俊彦(もりの としひこ)

元福岡高等裁判所民事部裁判長。佐賀・松江・和歌山等の地裁や京都家庭裁判所、大阪高等裁判所などを歴任したキャリア豊富な裁判官。社会的に話題になった重大な裁判も担当した。模擬裁判を始めとする法教育の指導経験も豊富である。

竹中芳晴(たけなか よしはる)

弁護士。2010年日本弁護士連合会登録。2011年より京都弁護士会法教育委員会委員、近畿弁護士会連合会法教育推進協議会委員。弁護士登録当初から、小中高への出陣授業、高校生に対する民事・刑事模擬裁判支援等、各種法教育に積極的に取り組んでいる。昨年度本校の模擬裁判チームの支援弁護士を務めた。

参加ご希望の方は下記までご連絡下さい。

問い合わせ

京都教育大学附属高校国語科 札埜(ふだの)まで <mailto:fudafuda@kyokyo-u.ac.jp>

主催

京都教育大学附属教育支援センター